

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和5年4月18日(2023.4.18)

【公開番号】特開2021-173810(P2021-173810A)

【公開日】令和3年11月1日(2021.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-053

【出願番号】特願2020-75825(P2020-75825)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30(2006.01)

10

G 02 F 1/1335(2006.01)

G 02 F 1/13363(2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

G 02 F 1/1335510

G 02 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月10日(2023.4.10)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

偏光子を含む偏光板と、

該偏光板に隣接して配置された、屈折率特性が $n_x > n_y = n_z$ の関係を示す第1の位相差層と、

該第1の位相差層に隣接して配置された、屈折率特性が $n_z > n_x > n_y$ の関係を示す第2の位相差層と、を有し、

該偏光子の吸収軸と該第1の位相差層の遅相軸とが実質的に直交しており、

該偏光子の吸収軸と該第2の位相差層の遅相軸とが実質的に平行である、

位相差層付偏光板。

【請求項2】

前記第1の位相差層と前記第2の位相差層との積層体が下記の関係を満足する、請求項1に記載の位相差層付偏光板：

$$0.82 < Re(450) / Re(550) \leq 1.2$$

$$0.8 < Re(650) / Re(550) < 1.18.$$

【請求項3】

画像表示セルと、該画像表示セルの視認側に配置された請求項1または2に記載の位相差層付偏光板と、を有する、画像表示装置。

【請求項4】

IPSモードの液晶表示装置である、請求項3に記載の画像表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

40

50

本発明の実施形態による位相差層付偏光板は、偏光子を含む偏光板と；該偏光板に隣接して配置された、屈折率特性が $n_x > n_y = n_z$ の関係を示す第1の位相差層と；該第1の位相差層に隣接して配置された、屈折率特性が $n_z > n_x > n_y$ の関係を示す第2の位相差層と；を有する。該偏光子の吸収軸と該第1の位相差層の遅相軸とは実質的に直交しており、該偏光子の吸収軸と該第2の位相差層の遅相軸とは実質的に平行である。

1つの実施形態においては、上記第1の位相差層と上記第2の位相差層との積層体は下記の関係を満足する：

$$0.82 < Re(450) / Re(550) \leq 1.2$$

$$0.8 < Re(650) / Re(550) < 1.18.$$

本発明の別の局面によれば、画像表示装置が提供される。この画像表示装置は、画像表示セルと、該画像表示セルの視認側に配置された上記の位相差層付偏光板と、を有する。10

1つの実施形態においては、上記画像表示装置は、IPSモードの液晶表示装置である。
。

10

20

30

40

50